

第 251 回 浜田市教育委員会定例会

日 時： 令和 8 年 5 月 25 日（月） 16 時 00 分から

場 所： 浜田市立中央図書館 2 階多目的ホール

出席者： 久佐教育長 杉野本委員 倉本委員 浅津委員 三浦委員

事務局： 佐々木部長 藤井課長 龍河担当課長 山口課長 永田担当課長
岡田室長 官澤課長

（書記 日ノ原係長 堀上主任主事）

1 教育長報告

2 議題

(1) 浜田市立学校統合計画等について …… 資料 1

(2) 浜田市社会教育委員の委嘱について …… 資料 2

3 部長、課長等報告事項

(1) 教育総務課長 …… 資料 3～5

(2) 教育総務課幼児教育担当課長 …… 資料 6

(3) 学校教育課長 …… 資料 7～10

(4) 学力向上推進室長 …… 資料 11

(5) 文化振興課長兼神楽文化伝承室長 …… 資料 12、13

4 その他

(1) その他

※次回定例会日程 令和8年6月17日（水）14時30分から
場所：浜田市立中央図書館2階多目的ホール

※次々回定例会日程 令和8年7月 日（ ） 時 分から
場所：

第251回浜田市教育委員会定例会・教育長報告

令和8年5月25日

月日	内容
4月 24日（金）	地元県議協議会（全協室）
4月 26日（日）	スプリングコンサートinはまだ（石央文化ホール）
4月 27日（月）	島根県都市教育長会定例会（松江市役所） 島根県市町村教育長会議・学力育成会議（サンラポーむらくも）
4月 30日（水）	HAMADA教育魅力化コンソーシアム役員会
5月 1日（金）	定例校長会（中央図書館） 国際交流協会理事会（浜田まちづくりセンター）
5月 8日（金）	浜田市奨学金審査委員会（北分庁舎会議室） 第1回浜田市総合教育会議（庁議室） 第1回浜田市総合振興計画審議会（講堂AB）
5月12日（火）	園長連絡会（浜田幼稚園）
5月14日（木）	全国都市教育長協議会定期総会・研究大会（高知市）
5月15日（金）	同上
5月19日（火）	スポーツ推進委員連絡協議会（浜田まちづくりセンター）
5月22日（金）	浜田水産高等学校後援会総会（浜田水産高校）
5月25日（月）	浜田市小学校陸上大会（浜田市陸上競技場）

案

教 総 第 号
令和 8 年 月 日

浜田市立学校統合計画審議会会長 様

浜田市教育委員会

浜田市立学校統合計画等について（諮問）

浜田市立学校統合計画並びに学校建設及び大規模改造等に関する計画の策定にあたり、下記の事項について諮問します。

記

- 1 小・中学校の適正規模及び適正配置について
- 2 小・中学校の建設計画の基本方針について

なお、上記 1、2 の検討にあたっては、石見小学校校区周辺エリアを優先的に検討されたい。

【諮問理由】

令和 4 年 10 月に策定した浜田市立小中学校統合再編計画において、令和 8 年度児童生徒数を 3,426 名と推計しましたが、令和 8 年 5 月 1 日時点の実績値では 3,254 名と想定を大きく下回り、出生数についても、令和 3 年度 302 名が、令和 7 年度は 194 名と、計画策定以降、予想以上に少子化のスピードが急加速し、今後、さらなる児童生徒数の減少が見込まれる状況にあります。

こどもたちの「生きる力」を育むには、通学条件・地理的要因等の地域事情を踏まえつつも、ある程度の学校規模を確保し、多様な価値観に触れたり、切磋琢磨したりする環境を提供することが大切と考えます。

一方で、建替中の美川小学校を除く小・中学校 22 校のうち 10 校は築 40 年が経過しており、学校の適正規模、適正配置を踏まえた建設計画の基本方針の検討をお願いします。

また、現在の統合再編計画において、未着手である石見小学校の単独建替えについては、計画を見直すこととし、再度検討していただく必要があります。

す。

つきましては、このような状況を踏まえ、諮問事項について、貴審議会において審議をお願いするものであります。

浜田市社会教育委員の委嘱について

社会教育法第 15 条の規定により次のとおり社会教育委員の委嘱を求めます。

任 期 令和 8 年 4 月 1 日から令和 10 年 3 月 31 日まで

令和 8 年度・令和 9 年度 浜田市社会教育委員名簿

番号		氏 名	性別	基準	所属・その他
1	新	岡本 紀子	女	1	社会教育士
2	継	大塚 美穂	女	1	弥栄のみらい創造会議 事務局 社会教育士
3	新	河本 誠二	男	1	浜田市校長会
4	新	齋藤 隼一	男	1	浜田市まちづくりセンター合同連絡会
5	継	佐々木 幸子	女	1	全日本同和会島根県連合会 浜田支部 女性部長
6	新	竹田 進吾	男	1	浜田教育事務所
7	継	田中 耕太郎	男	1	浜田市文化協会 会長
8	新	長谷川 真美	女	1	長浜地区まちづくり推進委員会 事務局 社会教育士
9	新	早川 良子	女	1	三隅地区まちづくり推進協議会 事務局 社会教育士
10	継	富金原 完	男	1	教育行政経験者
11	継	楨内 京子	女	1	浜田市スポーツ推進委員
12	継	柳川 智己	女	2	しまね子どもの読書等推進の会 浜田支部
13	新	吉野 慶子	女	1	浜田市 PTA 連合会

基
準

- (1) 学校教育及び社会教育の関係者
- (2) 家庭教育の向上に資する活動を行う者
- (3) 学識経験のある者

資料4

令和 8 年 5 月 25 日
教育委員会定例会資料
教 育 総 務 課

令和 7 年度浜田市立図書館の利用状況について

1 各館の利用実績

カッコ内：令和 6 年度実績

項 目(単位)	中央	金城	旭	弥栄	三隅	合計
来館者数（人）	133,288 (123,341)	5,537 (5,179)	5,110 (4,528)	408 (547)	20,631 (18,603)	164,974 (152,198)
利用者数※（人）	59,262 (62,563)	3,824 (3,448)	2,721 (2,687)	408 (547)	6,341 (6,296)	72,556 (75,541)
個人貸出点数※（点）	196,992 (199,388)	13,752 (11,851)	8,535 (8,119)	1,264 (1,623)	24,875 (24,597)	245,418 (245,578)
利用団体数（件）	165 (155)	17 (12)	12 (8)	1 (1)	33 (27)	228 (203)
団体貸出冊数（冊）	9,035 (9,284)	248 (254)	159 (101)	1 (29)	1,673 (1,600)	11,116 (11,268)
予約・リクエスト 受付件数※（件）	12,574 (13,123)	551 (503)	358 (354)	26 (43)	279 (234)	13,788 (14,257)
レファレンス 受付件数※（件）	1,929 (2,030)	781 (863)	676 (553)	0 (0)	278 (277)	3,664 (3,723)
蔵書数※（冊）	220,719 (216,413)	34,309 (23,367)	24,243 (23,656)	6,330 (6,140)	43,140 (42,138)	328,741 (311,714)
開館日数（日）	319 (326)	297 (302)	297 (302)	297 (302)	295 (299)	—

※の項目には、中央図書館に移動図書館車の実績を含む

2 電子書籍の利用状況

(単位：点)

	令和 7 年度	令和 6 年度
電子書籍コンテンツ数	2,284	2,191
貸出点数	505	512

3 参考

	令和 7 年度	令和 6 年度
浜田市人口（年度末）	47,023 人	48,048 人
個人貸出冊数	245,418 冊	245,578 冊
市民 1 人当たりの貸出冊数	5.22 冊	5.11 冊

旧金城支所庁舎の解体工事中における
浜田市立金城図書館の開館について

金城図書館に隣接する旧金城支所庁舎の解体工事が、令和 8 年度に行われます。

この間、金城図書館への受電が困難であること、解体工事で騒音や振動が発生することから、みどりかいかん（金城支所）2 階の青年集会室にて金城図書館を開館し、来館者の読書環境を保ちます。

記

1 開館場所

みどりかいかん 2 階 青年集会室

2 予定期間

令和 8 年 8 月 1 日（土）から令和 9 年 3 月 31 日（水）まで

3 開館計画

- (1) 開館場所（みどりかいかん）の周知
- (2) 所蔵図書の一部をみどりかいかんへ配架（配架冊数等は検討中）
- (3) 作業のため7月29日（水）から7月31日（金）まで臨時休館

4 周知方法

- (1) 周知方法

広報はまだ（7月号）、浜田市立図書館 HP、図書館だより、各図書館内掲示、金城地域戸別チラシ配布及び防災行政無線

- (2) 周知先関係機関

浜田市内小中学校、金城地域保育所及び放課後児童クラブ、
浜田市内県立高校、島根県立大学メディアセンター、子育て
世代包括支援センター、各まちづくりセンター、県内図書館

5 作業スケジュール

	7/29(水)	7/30(木)	7/31(金)	8/1(土)
書棚・本の移動	○	○		開館
機器類の移動			○	

資料6

令和8年5月25日
教育委員会定例会資料
教育総務課

令和8年度幼児教育・保育施設の変更点と未就学児童の状況について

1 令和8年度幼児教育・保育施設の変更点について

「保育所」から「保育所型認定こども園」へ移行した施設

・認定こども園美川保育園

「本園」から「分園」へ移行した施設

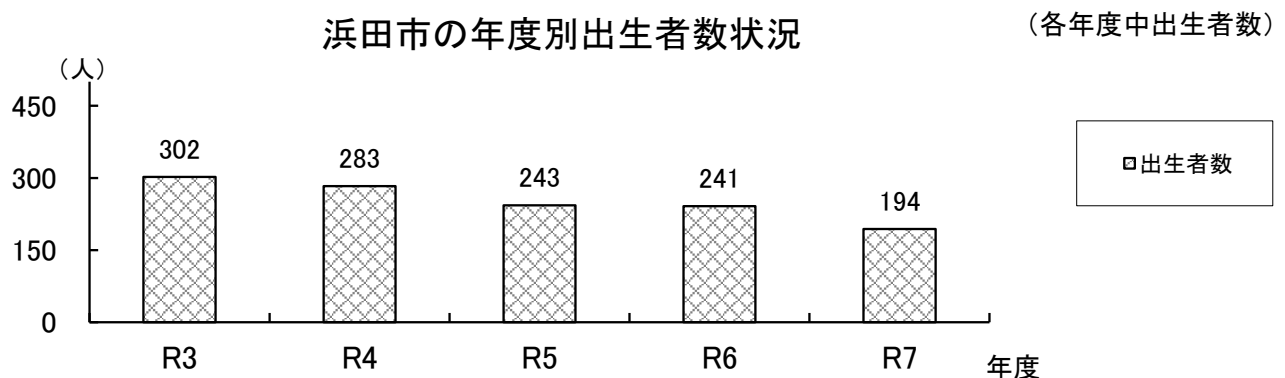
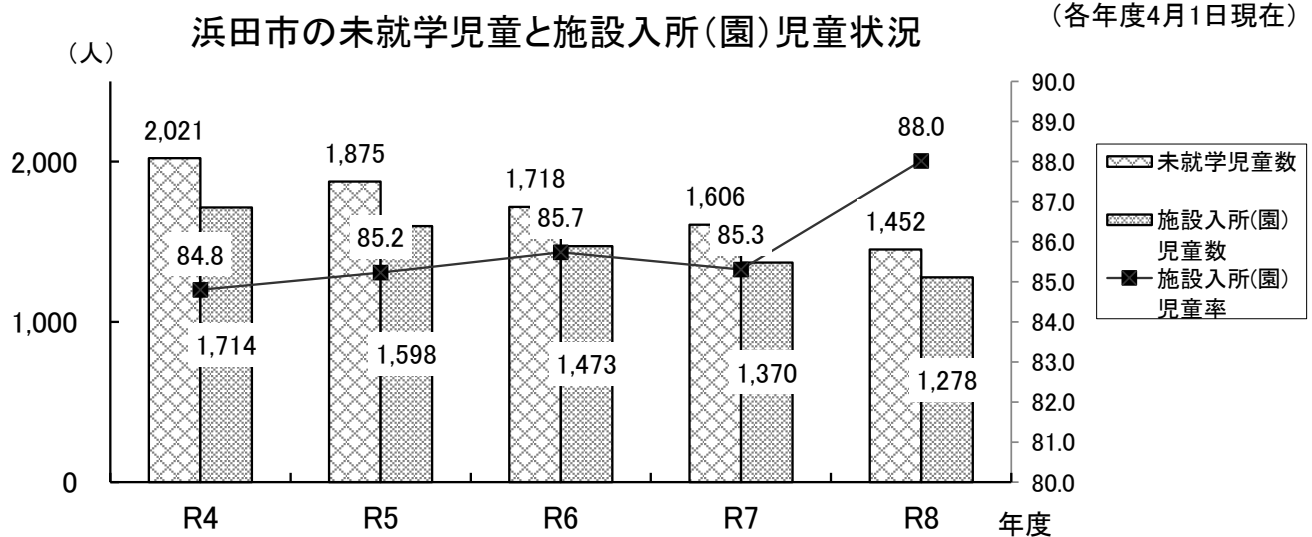
・認定こども園美川保育園分園やさかこども園(旧:認定こども園やさかこども園)

2 浜田市の未就学児童及び施設入所(園)児童の状況について

各年度4月1日現在

年度	人口 人	未就学 児童数 人	施設入所(園) 児童数 人	施設入所(園) 児童率 %	施設別入所(園)状況		
					保育所 人	認定こども園 幼児園部 人	幼稚園 人
R4	51,057	2,021	1,714	84.8	1,572	76	66
R5	50,129	1,875	1,598	85.2	1,468	71	59
R6	49,096	1,718	1,473	85.7	1,381	52	40
R7	48,048	1,606	1,370	85.3	1,265	83	22
R8	47,023	1,452	1,278	88.0	1,194	67	17

※保育所は、認可外保育施設を含む。



○浜田市の未就学児童の状況について

1 人口構成等の状況(R8.4.1現在)

地域	人 口	世帯数	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計	R7年	増減(R8-R7)
浜田	35,085	18,374	156	178	205	224	215	215	1,193	1,306	△ 113
金城	3,640	1,784	12	15	10	24	19	19	99	102	△ 3
旭	2,270	1,211	5	11	9	4	11	14	54	71	△ 17
弥栄	1,015	605	1	0	1	1	2	1	6	9	△ 3
三隅	5,013	2,642	9	14	15	14	24	24	100	118	△ 18
合 計	47,023	24,616	183	218	240	267	271	273	1,452	1,606	△ 154

2 施設の入所状況(R8.4.1現在)

地域		施設数	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計	R7年	増減(R8-R7)
浜田	私立保育所	11	23	100	103	121	102	106	555	632	△ 77
	こども園(保育)	7	19	51	87	81	85	81	404	365	39
	こども園(幼児)		-	-	-	16	20	18	54	68	△ 14
	公立幼稚園	1	-	-	-	2	5	10	17	22	△ 5
	私立幼稚園	-	-	-	-	-	-	-	0	0	0
	認可外保育施設	1	0	3	3	2	2	1	11	23	△ 12
	計	20	42	154	193	222	214	216	1,041	1,110	△ 69
金城	私立保育所	3	2	15	11	18	16	16	78	81	△ 3
	計	3	2	15	11	18	16	16	78	81	△ 3
旭	こども園(保育)	1	1	9	6	3	5	7	31	35	△ 4
	こども園(幼児)		-	-	-	1	6	6	13	15	△ 2
	計	1	1	9	6	4	11	13	44	50	△ 6
弥栄	こども園分園(保育)	1	0	0	1	1	2	0	4	9	△ 5
	計	1	0	0	1	1	2	0	4	9	△ 5
三隅	私立保育所	3	2	13	12	17	22	23	89	97	△ 8
	計	3	2	13	12	17	22	23	89	97	△ 8
広域※	広域保育所	-	0	3	4	1	3	4	15	15	0
	広域こども園(保育)	-	1	1	1	1	3	1	8	6	2
	広域小規模A型	-	1	0	0	0	0	0	1	2	△ 1
	広域幼稚園	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0
	計	-	2	4	5	2	6	5	24	23	1
合計	私立保育所	17	27	128	126	156	140	145	722	810	△ 88
	広域保育所	-	0	2	3	4	1	3	13	15	0
	こども園(保育)	9	20	60	94	85	92	88	439	409	30
	認可外保育施設	1	0	3	3	2	2	1	11	23	△ 12
	広域こども園(保育)	-	1	1	1	1	3	1	8	6	2
	広域小規模A型	-	1	0	0	0	0	0	1	2	△ 1
	小計	27	49	194	227	248	238	238	1,194	1,265	△ 69
	こども園(幼児)	-	-	-	-	17	26	24	67	83	△ 16
	公立幼稚園	1	-	-	-	2	5	10	17	22	△ 5
	私立幼稚園	-	-	-	-	-	-	-	0	0	0
	広域幼稚園	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0
	小計	1	0	0	0	19	31	34	84	105	△ 21
	合計	28	49	194	227	267	269	272	1,278	1,370	△ 90
施設入所児童率			26.8%	89.0%	94.6%	100.0%	99.3%	99.6%	88.0%	85.3%	2.7%
施設未利用者			134	24	13	0	2	1	174	236	△ 62

※広域とは市外を意味しており、浜田市の乳幼児が市外の施設に入所する場合を「広域入所」と言います。

令和8年度 学校別児童生徒数一覧表

1 小学校

令和8年5月1日 現在

学校名	令和8年度									令和7年度	増減
	種別	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特	合計	合計	
原井小	児童数	(3) 28	36	(4) 38	(1) 41	(1) 36	(4) 30	13	222	248	△ 26
	学級数	1	2	2	2	2	1	4	[4] 14	13	1
松原小	児童数	15	(1) 11	(1) 14	16	(3) 17	(1) 16	6	95	99	△ 4
	学級数	1	1	1	1	1	1	2	[2] 8	8	
石見小	児童数	(1) 34	(1) 43	(2) 50	(2) 40	(2) 49	(4) 45	12	273	299	△ 26
	学級数	2	2	2	2	2	2	3	[3] 15	15	
美川小	児童数	8	(1) 6	7	10	8	(3) 10	4	53	60	△ 7
	学級数	1	1	1	1	1	1	2	[2] 8	8	
周布小	児童数	35	(4) 29	(2) 38	(1) 34	(4) 41	(1) 45	12	234	235	△ 1
	学級数	2	1	2	1	2	2	4	[4] 14	13	1
長浜小	児童数	(1) 24	(5) 35	(4) 32	(3) 38	(2) 41	(1) 42	16	228	235	△ 7
	学級数	1	2	1	2	2	2	4	[4] 14	14	
国府小	児童数	(3) 38	(3) 47	(4) 53	(4) 53	(5) 38	(8) 41	27	297	315	△ 18
	学級数	2	2	2	2	2	2	6	[6] 18	17	1
三階小	児童数	43	(1) 29	(3) 35	(1) 32	(1) 36	(2) 31	8	214	205	9
	学級数	2	1	1	1	2	1	3	[3] 11	10	1
雲城小	児童数	(2) 12	(1) 17	(2) 16	(3) 22	(3) 21	(3) 31	14	133	136	△ 3
	学級数	1	1	1	1	1	1	2	[2] 8	8	
今福小	児童数	3	8	2	6	(3) 6	7	3	35	36	△ 1
	学級数	1	1	1		1		1	[1] 5	6	△ 1
波佐小	児童数		1	1	1	3	5		11	12	△ 1
	学級数		1	1		1			3	3	
旭小	児童数	(1) 14	(1) 9	(1) 11	(1) 15	17	(1) 17	5	88	91	△ 3
	学級数	1	1	1	1	1	1	2	[2] 8	7	1
弥栄小	児童数	4	(1) 4	(1) 8	4	(1) 7	4	3	34	39	△ 5
	学級数	1		1		1		1	[1] 4	5	△ 1
三隅小	児童数	20	(2) 18	(1) 29	(2) 29	(1) 26	31	6	159	164	△ 5
	学級数	1	1	1	1	1	1	2	[2] 8	8	
岡見小	児童数	6	(1) 2	6	6	(1) 7	5	2	34	36	△ 2
	学級数	1		1		1		2	[2] 5	6	△ 1
計	児童数	(11) 284	(22) 295	(25) 340	(18) 347	(27) 353	(28) 360	131	2,110	2,210	△ 100
	学級数	18	17	19	15	21	15	38	[38] 143	141	2

※()は特別支援学級に入る児童の外数 []は特別支援学級の学級の内数

※第1学年は30人・2学年は32人学級編制

※第3・4・5・6学年は35人学級編制

※事務職員未配置→波佐小

【参考】 標準学級数（文部科学省基準）・・・1クラス35人
実学級数（少人数学級編制）・・・1クラス1年30人、2年32人、3～6年35人

2 中学校

令和8年5月1日 現在

学校名	令和8年度						令和7年度	増減
	種別	1年	2年	3年	特	合計	合計	
第一中	生徒数	(2) 116	(1) 115	(2) 131	5	367	368	△ 1
	学級数	4	4	4	2	[2] 14	14	
第二中	生徒数	46	(1) 29	(1) 34	2	111	106	5
	学級数	2	1	1	2	[2] 6	6	
第三中	生徒数	(4) 78	(1) 97	(4) 82	9	266	299	△ 33
	学級数	3	3	3	2	[2] 11	12	△ 1
浜田東中	生徒数	(4) 47	(1) 35	(1) 53	6	141	136	5
	学級数	2	1	2	3	[3] 8	10	△ 2
金城中	生徒数	(3) 20	(3) 16	(2) 27	8	71	71	
	学級数	1	1	1	3	[3] 6	5	1
旭中	生徒数	11	(2) 20	(1) 17	3	51	65	△ 14
	学級数	1	1	1	2	[2] 5	5	
弥栄中	生徒数	8	7	(1) 4	1	20	20	
	学級数	1	1	1	1	[1] 4	3	1
三隅中	生徒数	(4) 28	(4) 40	(3) 38	11	117	126	△ 9
	学級数	1	2	1	2	[2] 6	7	△ 1
計	生徒数	(17) 354	(13) 359	(15) 386	45	1,144	1,191	△ 47
	学級数	15	14	14	17	[17] 60	62	△ 2

※()は特別支援学級に入る生徒の外数 []は特別支援学級の学級の内数

※第1学年は35人、第2・3学年は38人学級編制(少人数学級編成)

【参考】 標準学級数(文部科学省基準)・・・1クラス1年35人、2～3年40人
実学級数(少人数学級編制)・・・1クラス1年35人、2～3年38人

3 小・中学校全体

令和8年5月1日 現在

区 分		児童生徒数	R7年度		学級数	R7年度	
				増減			増減
1_小学校	1_通常学級	1,979 人	2,084 人	△ 105 人	105 学級	108 学級	△ 3 学級
	2_特別支援学級	131 人	126 人	5 人	38 学級	33 学級	5 学級
	小 計	2,110 人	2,210 人	△ 100 人	143 学級	141 学級	2 学級
2_中学校	1_通常学級	1,099 人	1,145 人	△ 46 人	43 学級	46 学級	△ 3 学級
	2_特別支援学級	45 人	46 人	△ 1 人	17 学級	16 学級	1 学級
	小 計	1,144 人	1,191 人	△ 47 人	60 学級	62 学級	△ 2 学級
全 体	1_通常学級	3,078 人	3,229 人	△ 151 人	148 学級	154 学級	△ 6 学級
	2_特別支援学級	176 人	172 人	4 人	55 学級	49 学級	6 学級
	合 計	3,254 人	3,401 人	△ 147 人	203 学級	203 学級	0 学級

資料8

令和8年5月25日
教育委員会定例会資料
教育総務課・学校教育課

令和8年度 運動会及び学習発表会等日程

学校名		運動会（体育祭）		学習発表会 （文化祭・合唱コン）		
		日程		形態	日程	備考
小学校	原井小	5月30日（土）	8:30 午前	学習発表会	12月5日（土）	
	松原小	5月30日（土）	8:20 午前	実施しない		実施なし
	石見小	10月3日（土）	8:30 午前	その他	2月18日（木）	（※1）
	美川小	5月30日（土）	8:30 午前	その他	2月12日（金）	（※1）
	周布小	10月3日（土）	8:30 午前	その他	1月30日（土）	（※1）
	長浜小	10月17日（土）	8:30 午前	その他	11/27, 1/26, 2/18	（※1）
	国府小	9月26日（土）	8:30 午前	その他	11月13日（金）	（※1）
	三階小	10月3日（土）	午前	実施しない		実施なし
	雲城小	10月17日（土）	8:30 午前	その他	11月13日（金）	人権集会として実施
	今福小	10月17日（土）	8:40 午前	その他	2月16日（火）	（※1）
	波佐小	5月31日（日）	8:50 午前	学習発表会	11月3日（火）	波佐文化祭内で実施
	旭小	6月6日（土）	8:30 午前	その他	1月21日(木) 2月19日(金)	（※1）
	弥栄小	9月26日（土）	8:30 午前	その他	11月7日（土）	弥栄小文化祭り
	三隅小	10月17日（土）	8:45 午前	その他	2月10日（水）	（※1）
	岡見小	10月17日（土）	8:30 午前	その他	2月13日（土）	（※1）
中学校	一中	9月17日（木）	8:45 1日	合唱コン	10月30日（金）	
	二中	9月19日（土）	8:45 午前	文化祭	10月31日（土）	
	三中	9月26日（土）	9:00 1日	合唱コン	10月30日（金）	
	浜田東中	9月19日（土）	8:55 1日	合唱コン	10月30日（金）	
	金城中	9月19日（土）	8:20 午前	学習発表会	10月24日（土）	
	旭中	10月2日（金）	9:00 1日	その他	10月30日(金) 12月11日(金)	（※2）
	弥栄中	9月26日（土）	8:30 午前	学習発表会	10月31日（土）	
	三隅中	10月3日（土）	8:40 午前	文化祭	10月30日（金）	
浜田幼稚園		10月10日（土）	午前	生活発表会	12月12日（土）	

（※1） 学習公開日（参観日）に各学年において、学習成果発表会を実施予定。

（※2） 学習公開日に合唱等を発表予定。

（※3） 日程変更の可能性があることをご了承ください。

小中学校の不登校数の推移について

1 不登校の状況について

(単位：人)

	不登校	不登校 (A) のうち、前年度も不登校に計上されていた者	不登校 (A) のうち、50日以上欠席している者	不登校 (A) のうち、90日以上欠席している者	うち、出席日数が10日以下の者	うち、出席日数が0日の者
令和7年度	177	83	132	86	14	3
小学校	68	22	43	22	3	1
中学校	109	61	89	64	11	2
令和6年度	173	71	112	63	10	3
小学校	75	25	38	20	3	0
中学校	98	46	74	43	7	3
令和5年度	127	80	0	70	9	2
小学校	46	26		21	3	0
中学校	81	54		49	6	2
令和4年度	127	64	0	76	13	6
小学校	50	20		26	3	1
中学校	77	44		50	10	5
令和3年度	110	49	0	59	16	2
小学校	39	17		15	1	0
中学校	71	32		44	15	2

2 令和7年度 相談等の状況について（複数回答、単位：人）

相談先等	小学校	中学校	合計
① 教育支援センター（山びこ学級）	2	0	2
② 教育センター等教育委員会所管の機関（①を除く）	4	1	5
③ 児童相談所、福祉事務所	0	0	0
④ 保健所、精神保健福祉センター	0	0	0
⑤ 病院、診療所	9	6	15
⑥ 民間団体、民間施設	2	0	2
⑦ 放課後デイサービス、ウィンド等	3	1	4
⑧ 養護教諭による専門的な指導を受けた人数	8	6	14
⑨ SCや相談員等による専門的な相談を受けた人数	8	6	14

令和8年5月25日
教育委員会定例会資料
学校教育課

令和7年度 青少年サポートセンターの利用状況について

青少年サポートセンターの令和7年度における相談状況等は、以下のとおりです。

【延べ相談件数】

(件)

		学校問題		家庭問題		対人・社会問題		個人問題	非行問題	その他	合 計
		不登校		ひきこもり		就労					
令和7年度	20歳未満	165	137	85	61	0	0	153	0	0	403
	20歳以上	1	1	169	133	105	27	832	0	0	1,107
	合 計	166	138	254	194	105	27	985	0	0	1,510
令和6年度	20歳未満	148	126	114	108	0	0	123	9	1	395
	20歳以上	0	0	207	203	143	32	910	0	0	1,260
	合 計	148	126	321	311	143	32	1,033	9	1	1,655

【延べ相談件数の相談方法の内訳】

(件)

	来 所	電 話	手 紙	訪 問	合 計
令和7年度	550	555	191	214	1,510
令和6年度	609	574	233	239	1,655

【相談ケース内訳】（継続して相談されたケース）

(人)

			学校問題		家庭問題		対人・社会問題		個人問題	非行問題	その他	合 計
			不登校		ひきこもり		就労					
令和7年度	20歳未満	小・中学生	2	2	0	0	0	0	0	0	0	2
		高校生	2	2	0	0	0	0	0	0	0	2
		定・通・専・フ	3	2	1	0	0	0	10	0	0	14
		その他	0	0	5	3	0	0	0	0	0	5
	小 計		7	6	6	3	0	0	10	0	0	23
	20歳以上		0	0	10	9	5	2	23	0	0	38
	合 計		7	6	16	12	5	2	33	0	0	61…⑤
令和6年度	20歳未満	小・中学生	4	4	0	0	0	0	0	0	0	4
		高校生	3	3	0	0	0	0	0	0	0	3
		定・通・専・フ	8	6	0	0	0	0	8	0	0	16
		その他	0	0	7	5	0	0	0	0	0	7
	小 計		15	13	7	5	0	0	8	0	0	30
	20歳以上		0	0	11	9	5	1	26	0	0	42
	合 計		15	13	18	14	5	1	34	0	0	72…①

(人数の説明)

- | | | |
|-----------------|----|-----|
| ① 令和6年度相談人数 | 72 | |
| ② 令和6年度末支援終了人数 | 15 | |
| ③ 令和7年度当初相談対象人数 | 57 | ①－② |
| ④ 令和7年度新規相談人数 | 4 | |
| ⑤ 令和7年度相談人数 | 61 | ③＋④ |
| ⑥ 令和7年度末支援終了人数 | 9 | |
| ⑦ 令和8年度当初相談対象人数 | 52 | ⑤－⑥ |

(裏面へ続く)

【支援終了者の内訳】

(人)

	転 出	40歳到達	就 労	市外の学 校へ進学	その他	合 計	
令和7年度末	1	3	3	1	1	9	…⑥
令和6年度末	2	0	3	2	8	15	…②

※その他は、学校生活が順調で支援の必要が無くなったり、生活が安定していることが確認できたことや、連絡が全く取れなかったこと、家族から支援不要の申し出があったことで、支援を終了とした人数です。

※支援を終了とした場合においても、再度相談があれば支援をします。

【若年無業者の状況】（実人数）（ ）は令和7年度中の就労者数

(人)

	相談・支援対象人数			内 ひきこもり			内 ニート		
		継続	新規		継続	新規		継続	新規
20歳未満	5 (0)	5 (0)	0 (0)	5 (0)	5 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
20歳以上	20 (0)	19 (0)	1 (0)	9 (0)	9 (0)	0 (0)	11 (0)	10 (0)	1 (0)
合 計	25 (0)	24 (0)	1 (0)	14 (0)	14 (0)	0 (0)	11 (0)	10 (0)	1 (0)

【居場所利用状況】（延べ人数、延べ回数）

	利用 人数	1日平均 利用人数	利 用 回 数						
			学習	調理	作業	音楽	休憩	相談	計
令和7年度	587	2.43	66	92	371	0	2	86	617
令和6年度	628	2.58	52	74	473	3	0	66	668

令和8年5月1日(金)
学力向上推進室

1 浜田市教育委員会 学力育成の取組・・・・・・・・・・・・・資料A

浜田市教育委員会の考える「学力」

限られた時間で、多くの情報の中から課題解決に必要な情報を収集して考え、根拠を明確にして筋道を立てて表現(文章、式、図、音声言語など)する力

※この「学力」は、全国学力・学習状況調査や県学力調査等の結果分析から明らかになっている浜田市児童生徒の課題でもあります。

浜田市教育委員会学力向上推進室では、「浜田市教育振興計画」で示された「基本理念：夢を持ち郷土を愛する人を育みます」を達成することを目指し、「施策の柱：Ⅰ～Ⅴ」の「Ⅰ 学校教育の充実～生きる力の育成」にある「主要施策：(1)～(3)」の「(1) 生きる力の育成 ③学力育成総合対策事業 ④小中連携教育推進事業」及び「(2) 一人一人を大切に教育の推進 ③ICT機器を活用した授業改善事業」を主に取り組んでいます。

＜浜田市教育振興計画より抜粋＞

(1) ー③ 学力育成総合対策事業

- AIドリルの活用 全小中学校
- たつじんテストの実施 全小学校4年生
- 教員の授業力向上支援

○指定校

授業公開日について

・図書館教育指定校

国府小学校(2年目)	10月29日(木)	11月26日(木)
	国語(1年生)	社会(3年生)
長浜小学校(1年目)	9月29日(火)	11月13日(金)
	社会(5年生)	国語(1年生)

・協調学習研究指定校

三隅小学校(2年目)	10月2日(金)	12月14日(月)
	社会(5年生)	社会(6年生)
旭中学校(3年目)	6月9日(火)	10月21日(水)
	社会(3年生)	理科(2年生)

・読解力育成指定校

周布小学校(1年目)	10月9日(金)	10月27日(火)
	国語(3年生)	国語(6年生)

・算数・数学科授業改善指定校

松原小学校(1年目)	9月14日(月)	11月13日(金)
	算数(1年生)	算数(6年生)
三階小学校(1年目)	6月22日(月)	9月25日(金)
	算数(4年生)	算数(5年生)
第一中学校(1年目)	6月12日(金)	10月19日(月)
	数学(2年生)	数学(3年生)

・ICT機器を活用した授業改善指定校＜(2) ー③ ICT機器を活用した授業改善事業＞

旭小学校(2年目)	11月9日(月)	12月9日(水)
	総合的な学習(6年生)	生活科(2年生)

積極的な参加をお願いします。学校司書は、調べる学習についても研修を行っていますので、連携しながら取り組んでください。

学習指導要領では、学習の基盤となる資質・能力として「言語能力」「情報活用能力」「問題発見・解決能力」を挙げています。調べる学習についての取組も含みますが、図書館活用教育は、これらの資質・能力を育成する上で有効な取組になると考えています。

また、浜田市の子どもたちの課題である「限られた時間で、多くの情報の中から課題解決に必要な情報を収集して考え、根拠を明確にして筋道を立てて表現（文章、式、図、言葉など）する力」に迫るための取組ともなると考えています。

各学校における図書館活用教育の推進をお願いします。

3 全国・学力学習状況調査について

限られた時間で、多くの情報の中から課題解決に必要な情報を収集して考え、根拠を明確にして筋道を立てて表現（文章、式、図、音声言語など）する力

★ 算数・数学についての今後の指導のポイントとして

- 小学校における課題があった問題～3(2)～

	正答率(県比)		【正答の条件】①～③の全てを書いている。 ① 3/4と2/3に共通する単位分数が、1/12であることを表す数や言葉（分母が12の倍数の単位分数を含む） ② 3/4が共通する単位分数の幾つ分かを表す数や言葉 ③ 2/3が共通する単位分数の幾つ分かを表す数や言葉				
浜田市	15.6	(-2.8)					
島根県	18.4						
全 国	23.0						
解答類型	①+②+③	②+③	①+②又は①+③	①	②又は③	通分について書いている	無解答
浜田市	15.6%	0.0%	1.2%	4.9%	1.2%	26.0%	13.6%

これらの解答類型に属する児童は、通分することの必要性に気づいてはいるものの、正答にまで至ることができなかった。正答者の2倍に当たる割合を占めている。



(2) ひろとさんたちは、分数のたし算についても、小数で考えたようにふり返っています。

まず、みおりさんは、 $\frac{2}{5} + \frac{1}{5}$ についてまとめています。

みおり $\frac{2}{5}$ は $\frac{1}{5}$ の2個分、 $\frac{1}{5}$ は $\frac{1}{5}$ の1個分です。
 $\frac{2}{5} + \frac{1}{5}$ の計算は、 $\frac{1}{5}$ をもとにすると、2 + 1 を使って考えることができます。

$\frac{2}{5} + \frac{1}{5}$ は、もとにする数を $\frac{1}{5}$ にすると、整数のたし算を使って計算することができます。

次に、ひろとさんは、 $\frac{3}{4} + \frac{2}{3}$ について考えています。

ひろと $\frac{3}{4}$ は $\frac{1}{4}$ の3個分、 $\frac{2}{3}$ は $\frac{1}{3}$ の2個分です。
 もとにする数が $\frac{1}{4}$ と $\frac{1}{3}$ でちがうので、同じ数にしたいです。

$\frac{3}{4} + \frac{2}{3}$ についても、もとにする数を同じ数にして考えることができます。

もとにする数を同じ数にするとき、その数は何になりますか。その数を書きましょう。また、 $\frac{3}{4}$ はその数の何個分、 $\frac{2}{3}$ はその数の何個分ですか。数や言葉を使って書きましょう。

(4) $\frac{1}{2} + \frac{1}{3}$ を計算しましょう。

	正答率(県比)
浜田市	82.1(-1.3)
島根県	83.4
全 国	81.3

◎3(4)の問題である異分母の分数の加法の計算では、県や全国と同レベル又はそれ以上の正答率にある。全問題中 3(4)が最も正答率が高いのに対し、同じように通分の考えを基に考える3(2)の正答率は、全問中最も正答率が低く、無解答率が最も高い結果となった。

○ 中学校における課題があった問題～8(1)～

8 A駅の近くに住んでいる歩夢さんは、C駅とD駅の間にあるスタジアムによく行きます。歩夢さんは、スタジアムの近くに新しい駅をつくる計画があることを知り、A駅から新しい駅までの運賃がいくらかになるのか気になりました。そこで、A駅からの走行距離と運賃をインターネットで調べ、次のような表にまとめました。

	A駅	B駅	C駅	D駅	E駅
A駅からの走行距離(km)	0.0	11.4	27.7	81.9	104.6
A駅からの運賃(円)	0	210	510	1520	1930

歩夢さんは、上の調べた結果を見て、A駅からの走行距離と運賃にはどのような関係があるかわかりにくいと感じました。そこで、調べた結果をもとに、A駅からの走行距離を x km、A駅からの運賃を y 円とし、コンピュータを使って次のようなグラフに表しました。このグラフの点Aから点Eまでの各点の x 座標と y 座標は、それぞれA駅からE駅までの各駅のA駅からの走行距離と運賃を表しています。

A駅からの走行距離と運賃のグラフ

(1) 歩夢さんは、前ページのA駅からの走行距離と運賃のグラフを見て、C駅とD駅の間の走行距離は、他の駅と駅の間に比べて長いと感じました。C駅とD駅の間の走行距離は、A駅からの走行距離と運賃のグラフの何を読み取ればわかりますか。下のアからエまでの中から正しいものを1つ選びなさい。

ア 点Dの x 座標と原点の x 座標の差
 イ 点Dの y 座標と点Cの y 座標の差
 ウ 点Dの y 座標と原点の y 座標の差
 エ 点Dの y 座標と点Cの y 座標の差

解答類型	ア	イ(正答)	ウ	エ
浜田市	8.4%	61.5%	15.1%	10.8%
	X座標に着目		Y座標に着目	

	正答率(県比)
浜田市	61.5(-8.2)
島根県	69.7
全国	71.9

走行距離の問いに対し、4人に1人の割合で、運賃を示すY座標に着目する結果になっている。

以上のような課題を克服するための指導のポイントは？

- ★ 重点としている「数学的活動の充実」による授業改善の推進
- ・ 数や言葉を使って、答え（考え）を的確に表現する活動の重視
- ・ 答えを求めるために必要な情報は何かを、具体的な問題場面に即して考える（見つける）活動の重視

4 学びの根っこをぐんぐん伸ばすプロジェクト「学びの基盤に関する調査」 ～深い子どもの理解に基づいただれもが伸びる授業をめざして～について 資料C—1・2

※浜田市は、小学校全4年生を対象に実施します。

※実施日は、通年で設定できます。各学校で設定してください。

- ・ 「学びの基盤に関する調査」研修が5月14日（浜田合同庁舎）にあります。それを受けて実施になると思います。データ提出が2月になっていますので、学校で、ゆとりをもって実施できる期日を設定してください。

※実施日まで事前準備（資料 たつじんテスト実施フロー）が整うように配慮してください。

※「たつじんテストPBT版 実施の手引き」をご覧の上準備をお願いいたします。テストの準備に時間がかかるのでゆとりをもって。

※実施報告を後ほど送る電子データ（エクセル）で提出することになっています。

各小学校 ⇒ 浜田市教育委員会（令和9年2月12日 金 までに）

⇒ 島根県教育委員会（令和9年2月26日 金 までに）

事業の背景及び目的

近年の全国及び県の学力調査の分析結果から、小学校第5学年から中学校第3学年において、算数・数学など学習内容の系統性が強い教科では、既習内容の理解が不十分である場合、過去の学習内容にさかのぼった支援が必要となることが明らかになっている。

児童生徒の学力の育成を図るためには、小学校低学年の段階から、学習のつまずきの要因を的確に把握し、適切な学習支援につなげることが重要である。本事業では、学習のつまずきの要因を明らかにする「学びの基盤に関する調査」を活用し、児童生徒一人ひとりの実態を把握したうえで、それに応じた支援を実施する。

また、児童生徒に求められる資質・能力を育むために必要な学びの在り方を考え、学習指導要領の趣旨を踏まえた授業改善の取組を推進し、児童生徒の主体的な学びを促進することを目的とする。

事業の内容

(1) 「学びの基盤に関する調査」(たつじんテスト)の実施

希望する市町村教育委員会(所管する一部の学校またはすべての学校)及び県立特別支援学校を対象に、「学びの基盤に関する調査」(たつじんテスト)を実施する。

- ・「学びの基盤に関する調査」(たつじんテスト)の活用【別紙】参照

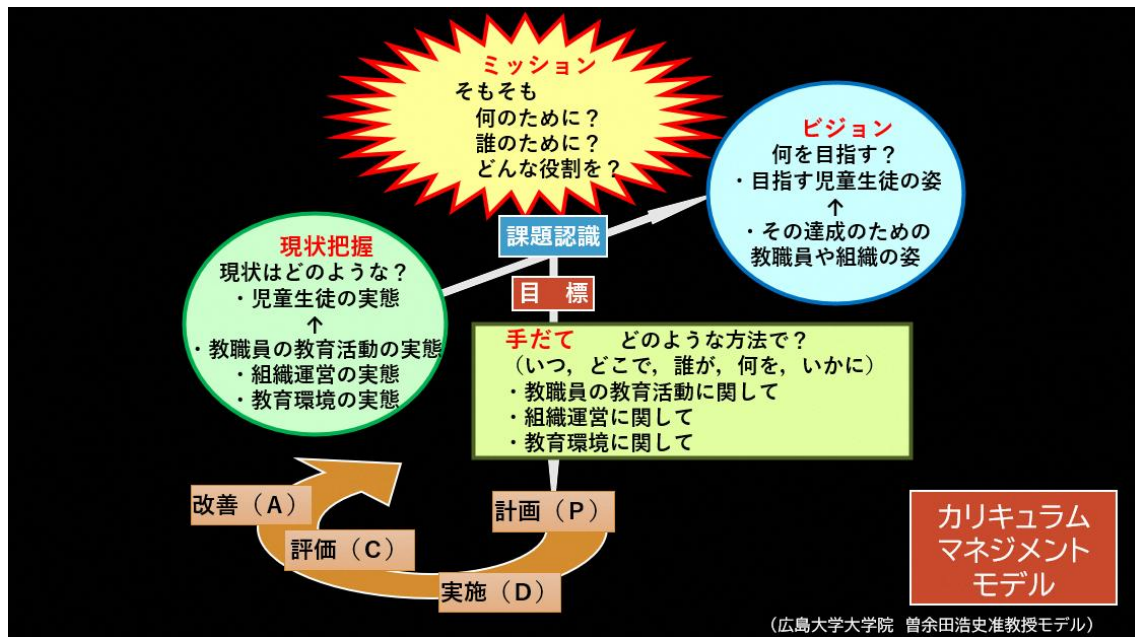
今井むつみ氏(開発時、慶應義塾大学教授)をはじめとする有識者及び広島県が開発した「たつじんテスト」(「ことばのたつじん」「かず・かんがえるたつじん」)PBT版を活用する。

本調査を通じて、教科学力の基盤となると考えられる「言葉、語彙」「数、形、量」「思考力、推論力」等に関する学習のつまずきを、教員の既存の知識や経験に加えて、客観的に把握する。

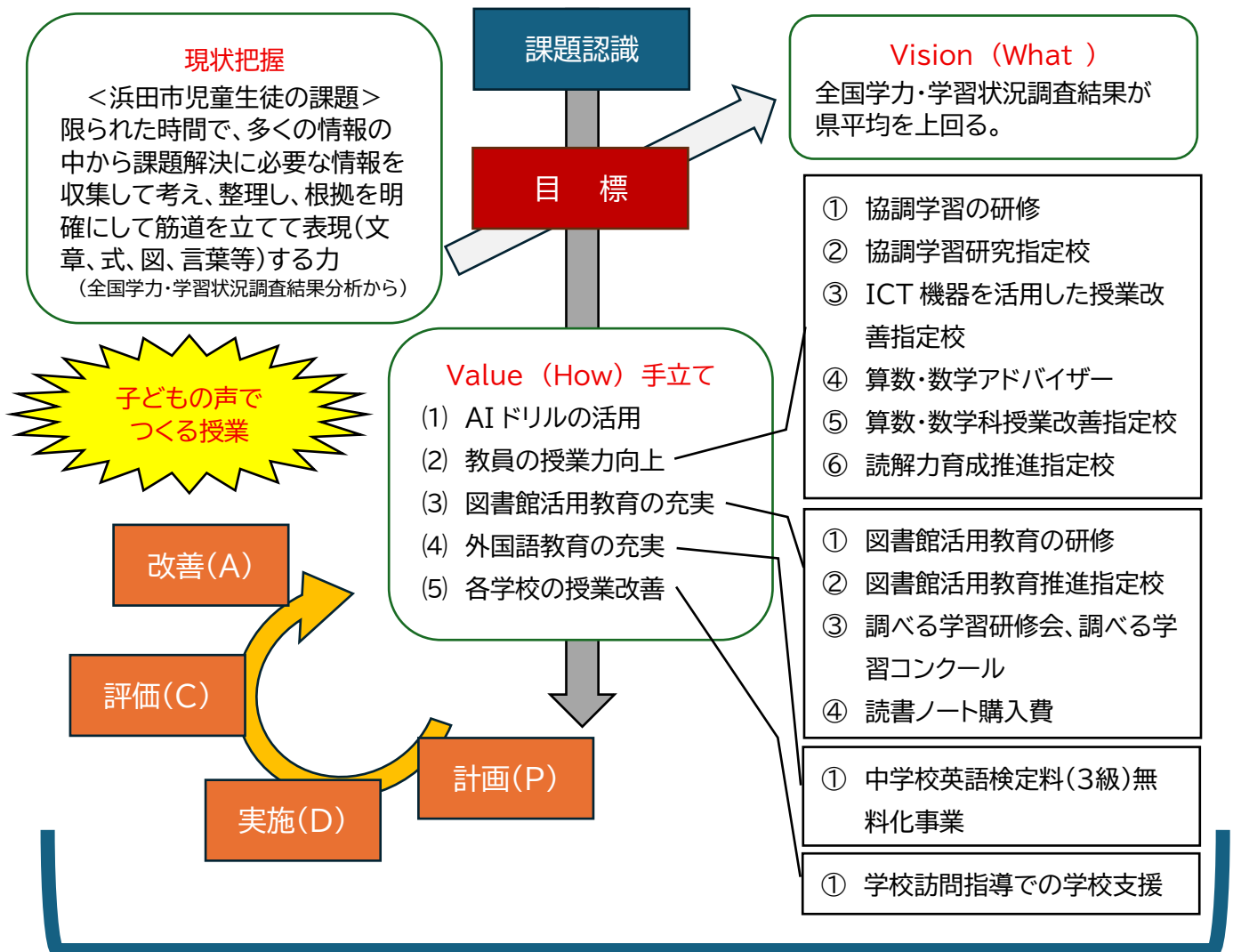
(2) 調査校への情報提供及び支援

調査を実施する学校に対し、「たつじんテスト」の理論的背景や活用事例、調査結果の分析方法、予測される児童生徒の学習のつまずき、それに対する支援の手立てについて説明、研修を実施する。

説明、研修は、対面またはオンライン等の方法で実施し、調査結果を活用した組織的な授業改善の取組が推進されるよう支援する。



Mission (Why) 夢を持ち 郷土を愛する人を育む
学力向上



第13回浜田市図書館を使った調べる学習コンクール 事業スケジュール

浜田市教育委員会

時 期	浜田市コンクール	全国コンクール
5月1日(金)	校長会にて「募集要項」の配布・説明 「募集要項」(募集チラシ)の印刷・配布 (関係諸団体への広報)	
6月	調べる学習研修会：中央図書館 「演題未定」 講義・ワークショップ (講師 未定 図書館振興財団に依頼予定) 対象 学校司書 (司書)教諭 等1名以上調べる 学習研修会：浜田市立中央図書館	
7月末～8月上旬	調べる学習応援講座：浜田市立中央図書館と各分館 (支援者 公立図書館司書 学校司書) 課題の設定・情報収集・整理分析・まとめ方 対象 小学校児童・保護者 30組程度	
8月	浜田市学校図書館活用教育研修会：浜田市立中央図書館 講義・ワークショップ「未定」 講師 塩谷 京子(予定) 対象 学校司書 司書教諭 図書館担当者他	
9月	校長会にて作品提出と「校内審査」の依頼	
10月 11月	作品応募 10月2日(金)～10月8日(木) 作品審査会 10月20日(火) 予備審査会(学校司書) 10月27日(火) 最終審査会 (司書教諭・学校図書館担当者)	推薦作品一覧を メールで連絡 11月5日まで 推薦作品の発送 ※11月12日必着
12月	審査結果の発表および入選者への通知 浜田市コンクール審査結果一覧の作成 選外作品の返却 参加賞の送付 表彰状作成 表彰式開催 12月9日(水)15:30～ (予定) 浜田市立中央図書館 (2階 多目的ホール) 各小中学校に優秀賞作品を巡回展示(自由部門)	11月27日～ 11月29日 全国コンクール 審査会
2月 3月 4月	作品を返却し及び賞状を渡す。 全国出品作品返却・レプリカ作成 市立図書館全館と小中学校でレプリカを展示する。	1月13日(水) 財団HPで審査結果の発表

第13回 浜田市図書館を使った 調べる学習コンクール



図書館を使った
調べる学習コンクール

募集期間

令和8年10月2日(金)
～10月8日(木)

作品の形態

小学生 B4 サイズまで、中学生 A4 サイズまでの用紙に50ページ以内でまとめてください

表紙、目次、参考・引用文献(調べたときに利用した資料名)はページ数に含みません

本文には、ページ数を記入してください

模造紙の場合は、上記サイズに折りたたんで応募してください

応募対象

浜田市内の小・中学生

応募方法

ご自分の通う学校の校内審査を経て応募できますので、学校に提出してください。

コンクールに関するお問合せ先

浜田市立中央図書館

「図書館を使った調べる学習コンクール」係

〒697-0024

浜田市黒川町 3748-1

電話 (0855)22-0480

Fax (0855)22-0592

または

浜田市教育委員会

〒697-8501

浜田市殿町 1 番地

電話 (0855)22-2626

Fax (0855)22-5090

浜田市のコンクールで優れた作品は、公益財団法人図書館振興財団が主催する全国コンクールの全国審査会に推薦します。

主催 浜田市教育委員会

後援 公益財団法人 図書館振興財団

令和8年度 学びの根っこをぐんぐん伸ばすプロジェクト「学びの基盤に関する調査」
～深い子どもの理解に基づいたれもが伸びる授業をめざして～ 実施要項

島根県教育委員会

1 事業の背景及び目的

近年の全国及び県の学力調査の分析結果から、小学校第5学年から中学校第3学年において、算数・数学など学習内容の系統性が強い教科では、既習内容の理解が不十分である場合、過去の学習内容にさかのぼった支援が必要となることが明らかになっている。

児童生徒の学力の育成を図るためには、小学校低学年の段階から、学習のつまずきの要因を的確に把握し、適切な学習支援につなげることが重要である。本事業では、学習のつまずきの要因を明らかにする「学びの基盤に関する調査」を活用し、児童生徒一人ひとりの実態を把握したうえで、それに応じた支援を実施する。

また、児童生徒に求められる資質・能力を育むために必要な学びの在り方を考え、学習指導要領の趣旨を踏まえた授業改善の取組を推進し、児童生徒の主体的な学びを促進することを目的とする。

2 実施対象

本事業の対象は、以下のとおりとする。

- ・ 市町村立小学校及び義務教育学校前期課程の児童
- ・ 市町村立中学校及び義務教育学校後期課程の生徒
- ・ 県立特別支援学校小学部の児童
- ・ 県立特別支援学校中学部の生徒

3 事業の内容

(1)「学びの基盤に関する調査」(たつじんテスト)の実施

希望する市町村教育委員会(所管する一部の学校またはすべての学校)及び県立特別支援学校を対象に、「学びの基盤に関する調査」(たつじんテスト)を実施する。

- ・ 「学びの基盤に関する調査」(たつじんテスト)の活用【別紙】参照
今井むつみ氏(開発時、慶應義塾大学教授)をはじめとする有識者及び広島県が開発した「たつじんテスト」(「ことばのたつじん」「かず・かんがえるたつじん」)PBT版またはICT版を活用する。
- ・ 本調査を通じて、教科学力の基盤となると考えられる「言葉、語彙」「数、形、量」「思考力、推論力」等に関する学習のつまずきを、教員の既存の知識や経験に加えて、客観的に把握する。

(2)調査校への情報提供及び支援

- ・ 調査を実施する学校に対し、「たつじんテスト」の理論的背景や活用事例、調査結果の分析方法、予測される児童生徒の学習のつまずき、それに対する支援の手立てについて説明、研修を実施する。
- ・ 説明、研修は、対面またはオンライン等の方法で実施し、調査結果を活用した組織的な授業改善の取組が推進されるよう支援する。

令和8年度研修の予定（「たっじんテスト」実施校悉皆対面研修）

研修名	期日・会場	時間	講師
学びの根っこをぐんぐん伸ばすプロジェクト「学びの基盤に関する調査」研修	5月13日（水） 出雲合同庁舎	13:30～16:30	慶應義塾大学名誉教授 今井むつみ教育研究所所長 今井むつみ 氏
	5月14日（木） 浜田合同庁舎	13:30～16:30	
	5月15日（金） 松江合同庁舎 隠岐合同庁舎※ 島前集合庁舎※	13:30～16:30	

※隠岐合同庁舎、島前集合庁舎は、松江会場の講義をオンラインで中継

4 費用

- ①「たっじんテスト」
- ②教員用閲覧画面利用料（ICT版を希望される場合）
- ③実施校悉皆研修
 - ・①②については、1/2を県、1/2を市町村負担とする。
 - ・③については、全額県が負担する。
 - ・特別支援学校については①～③の全額県が負担する。

<実施内容>

対象	PBT 版		ICT 版
	分類	セット販売	
小1～3	低学年用	カードゲーム（7種類）	小学生版 （2年生以上）
小4～6	高学年用		
中1	中学生用	カードゲーム（4種類）	中学1年生版
中2・3			中学2年生版

※小学1年生及び特別支援学級の児童には、まなびわくわくテストが提供されます。

5 調査事前・事後の報告

- ・実施する学年・人数を報告する。
- ・実施報告を電子データ（エクセル）で提出する。
提出先：市町村立学校→市町村教育委員会→県教育委員会
特別支援学校→県教育委員会
県教育委員会への提出期限は令和9年2月26日（金）とする。

6 調査実施の流れ

- 2月 実施希望の照会
管理者説明会（オンライン）
- 3月 実施希望校、学年、人数の報告
- 4月 実施通知、手引きの送付等
- 5月 実施した学校から随時、調査結果の分析・活用

<実施について>

PBT 版：年間を通して計画的に実施

ICT 版：4月～7月末 たっじんテストの実施（各学校で実施日を設定）

令和8年度「学びの基盤に関する調査」たつじんテスト実施フロー

学校教育課

☆実施までのところで関連動画等で、たつじんテストについて理解を図ったうえでの実施をお願いします。

たつじんテストについては、「しまねの教育情報 Web EIOS」に資料等を掲載しています。（別紙参照）

PBT 版実施

〈事前準備から実施まで〉

市町村教育委員会

- ・該当校へのデータ提供
(たつじんテスト、まなびわくわくテスト、カードゲーム)
- ・誓約書の回収、県への提出

各学校

- ・誓約書の提出（市町村教育委員会へ）
- ・必要部数の印刷（市町村教育委員会と確認）

〈児童生徒によるたつじんテストの実施〉

令和8年度中

各学校で計画的に実施してください。

ICT 版実施

〈事前準備から実施まで〉

市町村教育委員会

- ・ネットワーク設定（ホワイトリスト化）
 - ・アカウント登録（ID・パスワード発行）
- 各学校へ周知

各学校

- ・登録する教員リスト報告（市町村教育委員会へ）
- ・市町村教育委員会でアカウント登録後、児童生徒登録→ログイン確認→テストの設定

先生画面を利用する教員を報告してください。

〈児童生徒によるたつじんテストの実施〉

令和8年4月20日～7月24日

実施日は各学校で設定してください。

〈授業改善・児童生徒支援の実施〉

たつじんテストの結果を踏まえて、各学校で取組の具体を推進してください。

（参考）たつじんテスト活用ステップ

- ① **気づく**：たつじんテストにより、児童生徒のつまずきに気づく
- ② **考える**：気づいたつまずきを踏まえ、各教科等での支援を考える
- ③ **行う**：授業や生活において、具体的な支援を行う
- ④ **共有・授業改善**：学校全体で指導や支援の工夫を共有し、授業改善を行う

実施校共通

〈研修〉

たつじんテスト実施校悉皆研修

5月13日（水）	5月14日（木）	5月15日（金）
出雲合同庁舎	浜田合同庁舎	松江合同庁舎 隠岐合同庁舎※ 島前集合庁舎※

※松江合同庁舎の講義をオンラインで中継

〈実施概要報告〉

2月末の報告をお願いします。

令和8年5月25日
教育委員会定例会資料
文化振興課

浜田市資料館運営協議会委員の委嘱について

浜田市資料館運営協議会委員について、浜田市教育研究会社会科部長の改選のため、1名の委員を交代し、星野委員を令和8年4月10日から令和10年3月31日の任期に委嘱しますので報告します。

敬称略、順不同

番号	氏 名	選出区分	住 所	委 嘱
1	アサヌマ マサシ 浅沼 政誌	民俗	松江市東出雲町錦新町	継続
2	アベ シロウ 阿部 志朗	教育	浜田市野原町	新規 R8.4.1より委嘱
3	テラオ タカシ 寺尾 堂	美術	益田市久城町	継続
4	ナカガミ アキラ 中上 明	教育	浜田市熱田町	継続
5	ナカノ ヨシフミ 仲野 義文	歴史	大田市鳥井町 石見銀山資料館	継続
6	ホシノ アキヒロ 星野 明洋	教育	浜田市金城町 波佐小学校校長	新規

令和 8 年 5 月 25 日
教育委員会定例会資料
文 化 振 興 課

令和 8 年度浜田市スクールコンサート
『ハイブリッドウィンドオーケストラメンバーによるスペシャルスクールコンサート
♪管楽器の魅力♪』 の開催について

このことについて、浜田市教育研究会音楽部会事業として令和 8 年度浜田市スクールコンサートが開催されますので報告します。

つきましては、鑑賞につきましてご都合がつく日程がございましたら文化振興課までご連絡いただきますようお願いいたします。該当校へは文化振興課から事前連絡させていただきます。

記

1. 目的 小中学生に優れた芸術鑑賞の機会を提供することにより、豊かな人間形成に寄与する

2. 日程・場所

開催日		時間	学校名	児童・生徒数
6 月 1 日	月	11:00～12:00	三階小学校	214
6 月 3 日	水	10:30～11:30	石見小学校	273
6 月 4 日	木	10:40～11:40	松原小学校	95
6 月 5 日	金	10:30～11:30	原井小学校	222
6 月 8 日	月	10:50～11:50	旭中学校	51
6 月 10 日	水	14:15～15:15	第一中学校	368
6 月 11 日	木	13:15～14:15	旭小学校	88
6 月 12 日	金	11:00～12:00	第二中学校	111

3. 主催 浜田市教育研究会音楽部会
※浜田市の補助事業により実施し、演奏は一般社団法人石見音楽文化振興会に委託

【裏面へ続く】

4. 演 奏 者 ハイブリッドウィンドオーケストラメンバー（5名）

三 階 小学校	植松 亮 【トランペット】	西岡 広基 【トランペット】	吉田 志津代 【ユーフォニアム】	谷 寄 夏帆 【トロンボーン】	鈴木 陽介 【チューバ】
石 見 小学校	植松 亮 【トランペット】	西岡 広基 【トランペット】	吉田 志津代 【ユーフォニアム】	谷 寄 夏帆 【トロンボーン】	鈴木 陽介 【チューバ】
松 原 小学校	ジャン・ガルウェ イ・シランクルズ 【フルート】	山田 佳奈 【オーボエ】	岩切 達海 【サクソフォン】	浦松 新 【ホルン】	引野 結菜 【サクソフォン】
原 井 小学校	植松 亮 【トランペット】	西岡 広基 【トランペット】	吉田 志津代 【ユーフォニアム】	谷 寄 夏帆 【トロンボーン】	鈴木 陽介 【チューバ】
旭 中学校	土谷 奈々 【フルート】	山田 佳奈 【オーボエ】	岩切 達海 【サクソフォン】	浦松 新 【ホルン】	引野 結菜 【サクソフォン】
第 一 中学校	植松 亮 【トランペット】	西岡 広基 【トランペット】	吉田 志津代 【ユーフォニアム】	谷 寄 夏帆 【トロンボーン】	鈴木 陽介 【チューバ】
旭 小学校	土谷 奈々 【フルート】	山田 佳奈 【オーボエ】	岩切 達海 【サクソフォン】	浦松 新 【ホルン】	引野 結菜 【サクソフォン】
第 二 中学校	ジャン・ガルウェ イ・シランクルズ 【フルート】	山田 佳奈 【オーボエ】	岩切 達海 【サクソフォン】	浦松 新 【ホルン】	引野 結菜 【サクソフォン】

5. 内 容 管楽器の魅力を紹介するプログラム。

6. そ の 他 本公演は令和6度から3年かけて浜田市内の全小中学校を訪問して
公演するもので、今回が3年目となります。

【担 当】

浜田市教育委員会 文化振興課
芸術文化振興係 佐々木、川本
TEL 0855-25-9730 / FAX 0855-23-5758
Mail bunka@city.hamada.lg.jp